

20180402 版

湯川秀樹「研究室日記 昭和廿年三月～昭和廿年九月 X」(s04-19-14) の一部

昭和廿年

7月1日(日)

沖繩守備司令長官、牛島中将、長少将 割腹の報あり

7月2日(月)

登校、東京帝国大学へ転任の件 西川・清水両教授へ
辞退の手紙書く

7月3日(火)

登校

7月4日(水)

登校、午後 駒井学部長に面会、東大の件話す。

7月5日(木)

登校、午後 外務省小川書記官 沢山氏来室

5月末現在 都市被害状況

戦災都市	戸数	人数
東京都	76 萬 [万]. 7 千	310 萬
大阪市	13.	51
横浜市	13.2	65
名古屋市	9.6	58
神戸市	7.	26
計	119 萬 5 千戸	500 萬人

6月以後焼夷爆撃状況

6月17日 鹿児島市、浜松市、大牟田市、四日市市
19日 福岡市、豊橋市、豊川、静岡市
22日 呉市、四日市市。

26日 名古屋市、各務ヶ原、大阪市、徳島市、
四日市市

29日 門司市、下関市、佐世保市、岡山市、
7月1日 呉市、熊本市、関門、宇部市、延岡市
2日 海南市
4日 姫路市、高松市、徳島市、高知市

9日より 和歌山市、堺市、大阪市南部、高知市、徳島市
10日 仙台市、岐阜市、四日市市、

7月6日(金)

登校.

午後 教室相談. 建物破却の件など

7月7日(土)

午前 三回生輪講

小梶君 T. Muto and Yamasita? Nogami

On the Inelastic Scattering of fast mesons

accompanied by the Excitation of Nuclei

(Sc. Pap. . . .)

liquid drop model

$$\sigma_{Ag} \sim 2 \sim 4 \times 10^{-24} \text{ cm}^2$$

$$h\nu_2 = 1.8 \text{ MeV}$$

γ -ray emission

7月9日(月)

登校. 俣野君、千田君来室

7月10日(火)

登校

午後 附属へ行き 科学学級児童にお話し.

7月11日(水)

登校、午後講義、秋田屋 斉藤、八束両君引

続き来室

7月12日(木) 雨、又涼しくなる.

午前講義

午後三時半より 赤外談話会

荒木源太郎君、 電子討論会

方向原子価

7月13日(金)

夜半 雨激し、朝はよく晴れる、未だ涼しい

登校

午前 三回生演習、小梶君 Bethe

Nuclear Physics B, XIII Disintegration

by charged Particles

7月14日(土)

午前 三回生演習、高木君

Wentzel, 続き. II Die Kernkräfte

7月16日(月) 雨、登校

午後一時 教室相談

7月17日(火) 雨

午前零時 防空当番の時間中に空襲警報出で

拍子木を打って町内を一順する。

登校の途中で散髪する

晩北口会 帰途物凄い豪雨にて腿のあたり

までずぶ濡れとなる

7月18日(水)

登校 (午後 秋田屋、大塚社長、齋藤氏 来室?)

子供二人風邪気に発熱 学校を休み居る

7月19日(木)

登校

7月20日(金)

登校

午後 特別科学教育班 附属にて会合

7月21日(土) 午前雨 涼し

朝七時過家を出て京津電車にて琵琶湖ホテル
に行く、雨の中を歩く。帰りは月出で 九時帰
宅

7月22日(日)

午前 家居、鹿内君来訪

午後 木田氏父娘の案内にて曼珠院に行く
山本氏の好意にて護摩堂を借りることにする
六時前帰宅

7月23日(月)

登校 朝教室相談

午後 教授会

7月24日(火)

朝から警報が続く 敵機動部隊 中部軍
管区に近づき、大型機 700 余 小型機 1300 余 取りまぜ延べ
約二千機、来襲。終日行動 沖縄の B29
も初出撃、マリアナ、硫黄島の敵機と協力
小型機は小型爆弾、ロケット爆弾により、又、B29
は大型爆弾にて 大阪その他広範囲に互って
軍事施設、工場、港湾に精密爆撃せり

7月25日(水)

登校、午後講義

7月26日(木)

登校 講義を休んで講演準備

午後研究室疎開相談

7月27日(金)

登校 午後武居弘ちゃん入営送別会に行く
六時から外国留学生 特別講義第一回

7月28日(土)

登校 朝、俣野・千田両君来室

午後 附属科学学級疎開の相談にて班の幹事

会あり 六時から特別講義第二回

(近代に於ける物理学の発達)

Potsdam 会談は米英重慶共同声明発表

それよると 以下の条件はわれわれの課すべき降

伏条件である。われわれはこの条件を固守する

他に選擇の余地はない 猶予することはない

- 1、世界征服を企てるものの權威と勢力は永久に
廢除せらるること 軍国主義を驅逐すること
- 1、日本領土中連合軍により指定せられる地点
はわれわれの目的達成確保のため占領せらるること
- 1、カイロ宣言の条項は実施せらるべく日本の主權
は本州、北海道、九州、四国およびわれわれ
の決定すべき小島嶼に限定せられること
- 1、日本の兵力は完全に武装を解除せられること
- 1、戦争犯罪人は嚴重に裁判せられること、日本政府
は日本国民の民主主義的傾向を復活すること 日本
政府は言論、宗教及び思想の自由並に基本的
人權の尊重を確立すべきこと
- 1、日本に留保を許さるべき産業は日本の經濟を
維持しかつ物による賠償を支払い得しむるものに
限られ、戦争のための再軍備を可能ならしめる如き
産業は許さぬこと この目的のため原料の入手は許
可せられること 世界貿易關係に対する日本の参
加はいづれ許さるべきこと
- 1、連合国の占領勢力は以上の目的が達成され
かつ日本国民の自由に表明せられたる意思にもと
づく平和的傾向を有する責任政府の樹立を見た場
合に撤廢せられること
- 1、日本政府は即刻全日本兵力の無条件降伏に
署名し、かつ適當なる保障をなすこと しからざる
に於いては、ただちに徹底的破壊をもたらすこと

7月29日(日)

7月30日(月)

登校 中村誠太郎君来室 午後理学部紀要 編集の会

7月31日(火)

登校 午後教室相談 助教授候補者
教授候補者の件

8月1日(水)

朝 宇津村 中地 岡本氏 □切氏 来室
疎開の件打合せ、午後講義 駒井部長来室

8月2日(木)

朝 登校 講義
午後 教室相談

8月3日(金)

午後一中にて特別科学教育打合せ会

8月4日(土)

午前 三回生演習 小梶君
Wentzel、Statisches Mesonfeld 終り
午後 山田君 来室

8月6日(月)

一昨日頃から急に暑くなる 夜も蒸暑くて
寝られぬ程 朝 27~8度 日中は 32~3度
位か
午後教授会 終わって 京都師団との連絡会

8月7日(火)

風邪気で頭痛がするので家に居る 明日子供等
集団疎開なので何かと慌だしい
午後朝日新聞 読売新聞 等より広島の新製

爆弾に関し 原子爆弾の解説を求められた
が 断る

8月8日(水)

朝3時から起きて子供等の出発準備
4時半頃母に連れられて家を出る
6時40分出発の山陰線で下山まで行
き そこから 須知農林学校まで歩く由
登校、 午後 講義したが気分が悪いので
早く帰る

8月9日(木)

少し熱があるので家に居る
忍さん来る
澄子 朝 附属の後援会に出席。帰ったら
熱八度あり 寝る

六日広島に投下した新型爆弾の威力は熱線が全体で
数kmに及ぶといはれてゐる。落下傘で吊し
地上数百米にて爆発と新聞はいふ

八月八日夜 ソ連、帝国に対し戦闘状態に入る旨最
後通牒を發す。九日滿ソ国境東部及び西部より
越境 北滿、鮮を爆撃

モトロフ外務人民委員は佐藤大使に対し八日夜
宣言を通達 その正文は次の如し
ヒットラードイツの敗北並びに降伏の後、日本は依
然として戦争の継続を主張する唯一の大国となった。
武装兵力の無条件降伏を要求した今年七月廿六日の三
国即ち アメリカ合衆国、イギリス、並支那の要求は日本
の拒否するところとなった。従って極東戦争に対する
調停に関するソ連に宛てられた日本政府の提案は一切
の基礎を失った 日本の降伏拒否を考慮し連合
国はソ連政府に対して日本の侵略に対する戦争に参
加し戦争終結の時期を短縮し犠牲の数を少なくし全
般的和平を出来る限り速かに克服することを促進する

様提案した ソ連政府は連合国に対する自国の義務に従い連合国の提案を受諾し本年七月廿六日の連合各国の宣言に参加した。ソ連政府においては自国の政府の右針路が平和を促進し各国民を今後新たな犠牲と苦難から救ひ日本国民をしてドイツが無条件降伏を拒否したる後蒙れる危険と破壊を避けしめ得る唯一の方途と思惟する以上鑑みソ連政府は明八月九日より日本と戦争状態に入る旨宣言す 云々

8月10日(金)

8月11日(土)

8月13日(月)

午後一時 理学部長室にて会議

午後四時 原子爆弾に関し荒勝教授より広島実地見聞報告

8月14日(火)

登校

8月15日(水)

登校 朝 散髪し身じまいする

正午より聖上陛下の御放送あり

ポツダム宣言御受諾の已むなきことを

御諭しあり

大東亜戦争は遂に終結

8月20日(月)

教授会

8月23日(木)

夕方 澄子 帰宅

8月24日(金)

朝 書物を運ぶ

午後 特別科学教育の会

大東亜戦空襲被害総計

死者 26 万人 傷者 42 万人

全焼全壊 221 万戸 罹災者 920 万人

半焼半壊 9 万戸

大なる被害を受けたる都市 81 都市 (206 都市中)

府県庁所在地にて大なる被害を受けざりしもの

16 都市 (札幌 盛岡 秋田 山形 福島

浦和 新潟 金沢 長野 大津 京都 奈良

鳥取 松江 山口 宮崎)

8 月 25 日 (土)

午後 教授会

夜に入って風雨強 台風通過らし

8 月 27 日 (月)

登校

8 月 28 日 (火)

連合軍先発空輸部隊 150 名 厚木飛行場に着陸

登校

8 月 29 日 (水)

午後 附属にて科学学級父兄会

8 月 30 日 (木)

朝 駒井部長室に行く

午後 四時 連合軍総司令官マックアサー

元帥 横浜着 ニューグランドホテル

に入る

8 月 31 日 (金) 雨

登校